

熱中症対策シンポジウムで講演しました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会の協力団体である東京都町田市（町田市保健所）では、2019年6月3日（月）、環境省主催の熱中症対策シンポジウムにおいて、講演を行いました。

このシンポジウムは、医学やスポーツ、暮らしに関する専門家から、熱中症の基礎的な知識、スポーツやイベントでの対策、夏の快適な暮らし方等、実際の熱中症対策に役立つ情報を提供することを目的として、6月2日（日）、3日（月）の両日にわたって開催されたもので、本会場（TKPガーデンシティ渋谷）で行われた講演等の様子は、町田市文化交流センターなど全国8箇所に中継されました。

町田市保健所の担当者は、2日目の6月3日に登壇し、「東京都町田市における熱中症対策」として約20分の講演を行いました。

講演では、塩と暮らしを結ぶ運動など11の団体と連携して熱中症対策に取り組んでいること、ポスター、チラシなどの発行物や、塩と暮らしを結ぶ運動の塩飴などの啓発物品を活用して、熱中症対策の啓発を行っていること、またこれらの取り組みが評価され、昨年度、熱中症予防声かけプロジェクトの「ひと涼みアワード」で「スポーツ部門最優秀賞」及び「トッランナー賞」を受賞したことなどをお伝えしました。

また、講演の様子が中継された町田市文化交流センターでは、塩と暮らしを結ぶ運動の塩飴、ウチワなどを設置し、2日間合計で約40名の来場者に、熱中症対策についてお伝えするだけでなく、実際に熱中症対策に役立つ物品をお渡ししました。



本会場



中継会場
(町田市文化交流センター)



町田市文化交流センターでの暮らしおグッズの配布